

これからの地方部における福祉人材確保 ～オホーツクに福祉人材を迎え入れるための地域協働の取組に向けて～

開催趣旨

現在、地方部において「福祉人材の確保」が課題となっています。すでに各組織、団体では職員を募集しても応募者がおらず、厳しい人員配置で事業を行っている状況も見られます。

この背景には少子化や若者の都市部への集中があり、今後地方部において福祉人材を確保していくためには、各組織・団体がそれぞれで採用活動に取り組む従来のアプローチではなく、“地域全体の協働”による取り組みが必要になってくると考えられます。このような取り組みは、ただ福祉人材を確保するという目的だけでなく、各地域で福祉人材たる若者を受け入れるための体制づくりを行ったり、福祉人材となる若者が地域に移住してくるという点で、人口減少が進む各地域での“まちづくり”にもつながるものといえます。

そこで、本フォーラムでは「京都北部の先進的な地域全体の協働による福祉人材確保に向けた取り組み」を参考にしつつ、北海道の中でも若者が集中している札幌から最も遠い地域の一つであるオホーツクにおいて、今後どのようにして福祉人材の確保に取り組んでいけばよいのかを、行政・福祉事業者・住民・大学教員・学生を交えて考えていきます。

日 時：2019年2月23日（土）13：30～16：30

場 所：津別町中央公民館（北海道網走郡津別町豊永5）

対 象：自分たちの町の福祉に関心のある方

（行政職員、保健・医療・福祉事業等を運営する法人職員、地域住民、学生など）

参加費：無料

主 催：日本ソーシャルワーク教育学校連盟 北海道ブロック

共 催：北海道社会福祉士会、北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道精神保健福祉士協会

後 援：北海道、北海道社会福祉協議会、津別町、津別町社会福祉協議会、

北海道社会福祉法人経営者協議会、北海道地域包括・在宅介護支援センター協議会

<お申込み方法>

以下の URL より必要事項を入力してフォーラムへの事前お申し込みをしてください。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/39b83de2601707>

（スマートフォンを使用して右記 QR コードからもお申込みいただけます）

※当日直接のご来場でも構いませんが、可能であれば事前のお申し込みをお願いします。

<お問い合わせ先>

・日本ソーシャルワーク教育学校連盟 北海道ブロック

E-mail：socialwork.ed.hokkaido@gmail.com

・津別町役場 保健福祉課（※福祉人材確保フォーラムの件とお伝えください）

TEL：(0152) 76-2151



プログラム

司会：山下 浩紀（日本医療大学 北海道ブロック）

13：00～ 受け付け開始

13：30～ 開会の挨拶

伊藤 新一郎（北星学園大学 北海道ブロック会長）

13：35～ 歓迎の挨拶

津別町長 佐藤 多一 氏

13：40～ フォーラムの開催趣旨説明

畑 亮輔（北星学園大学 北海道ブロック副会長）

13：50～ 基調講演

「京都北部での行政・事業者・住民・大学の協働による福祉人材確保に向けた取り組み」

五嶋 仁 氏（社会福祉法人 大樹会 理事）

14：50～ 休憩

15：00～ シンポジウム

「オホーツクにおける地域協働での福祉人材確保に向けて」

シンポジスト

行政の立場から：小野 淳子氏（津別町保健福祉課 課長）

事業者の立場から：武田 学 氏（北見市東部・端野地区地域包括支援センター 管理者）

住民の立場から：菅原 栄子氏（NPO 法人絆一びほろー 副理事長）

大学の立場から：畑 亮輔 氏（北星学園大学 准教授）

学生の立場から：北星学園大学 社会福祉学部 学生

コメンテーター 五嶋 仁 氏（社会福祉法人 大樹会）

16：20～ 総括

中谷 陽明（日本ソーシャルワーク教育学校連盟 相談役）

16：25～ 閉会の挨拶

神内 秀之介（北海道社会福祉士会 副会長）

16：30 閉会